

2021年8月20日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

食品の保存技術 特許総合力 トップ3は三菱ガス化学、マンダム、三井金属鉱業

弊社はこのほど、2021年8月5日までに日本の特許庁で公開された「食品の保存技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用いて参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

食品を長期保存する際、酸化防止や殺菌防止が十分に施されていないと、味や栄養価が低下してしまいます。各企業は酸化防止剤の同封、殺菌処理などを行うことで、食品の品質低下を防止しています。

今調査では日本の特許庁で公開されている「食品の保存技術」（テーマコード：4B021）について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計をした結果、「総合ランキング（注1）」は、1位 **三菱ガス化学**、2位 **マンダム**、3位 **三井金属鉱業**となりました（表1、図1）。

【表1：食品の保存技術 特許総合力トップ5】

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	三菱ガス化学	150.5	25	67.0
2	マンダム	149.3	27	69.1
3	三井金属鉱業	100.6	7	70.3
4	凸版印刷	95.8	22	65.6
5	三菱商事ライフサイエンス	90.2	18	61.2

1位 **三菱ガス化学**の注目度の高い特許には、「アルデヒド吸収能力を向上させ、かつ保存する食品に適したエタノールを蒸散させる食品保存剤」や「水分が無いか殆ど無い雰囲気下でも雰囲気中の酸素を吸収する能力をもつ酸素吸収剤」などが挙げられます。

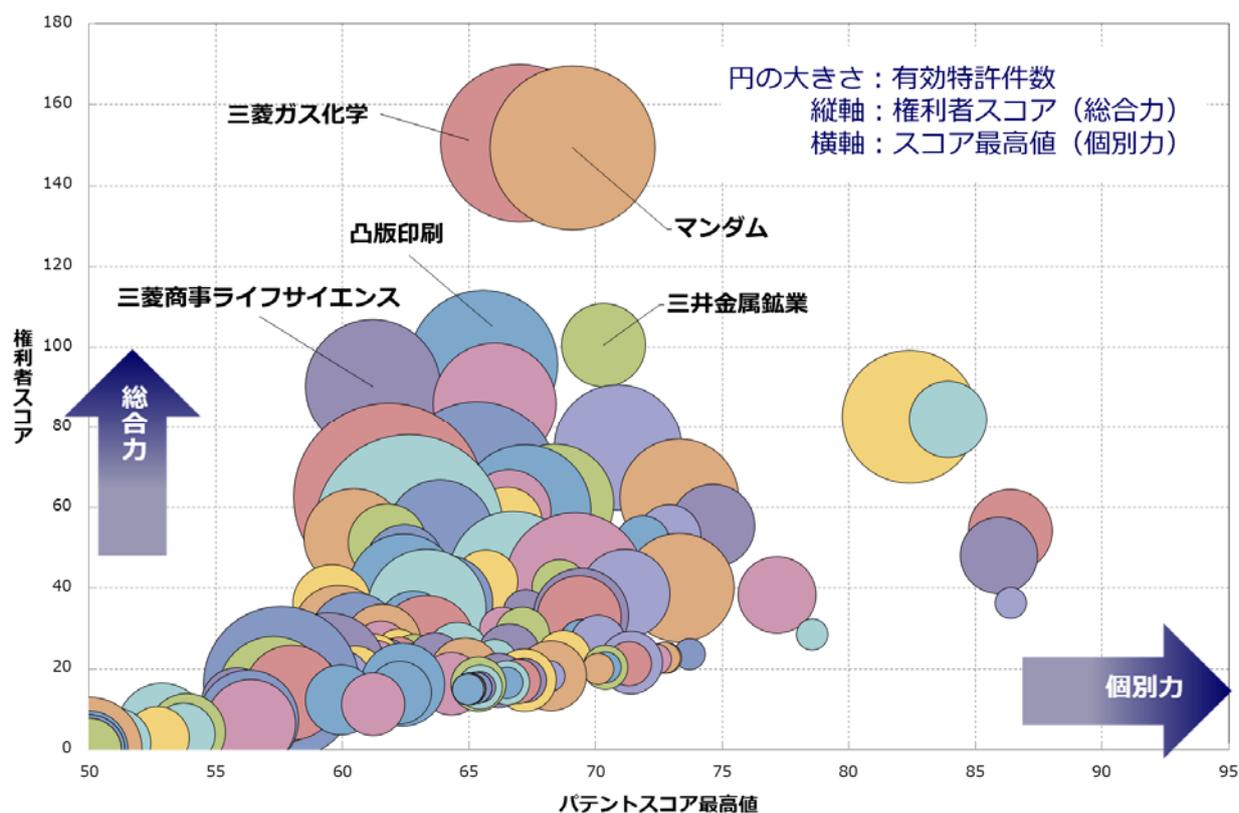
2位 **マンダム**の注目度の高い特許には、「優れた抗菌活性と高い安全性を有する防腐殺菌剤並びに該防腐殺菌剤を配合した化粧品、医薬品及び食品」が挙げられます。同社の当分野への出願は27件あり、同様の内容となっています。

3位 **三井金属鉱業**は「酸素吸収能力が更に増大した酸化セリウム系脱酸素剤」や「酸化チタンに比べ酸素吸収能力が向上すると共に、ハンドリング性が向上した脱酸素剤」などが注目度の高い特許として挙げられます。

4位 **凸版印刷**は「酸素吸収能力が向上した、有機系酸素吸収組成物を使用した粒状の脱酸素剤」などが、5位 **三菱商事ライフサイエンス**は「油脂のリパーゼ処理物を含む飲食品、飲食品の保存性向上剤」などが注目度の高い特許として挙げられます。

6位以下には**三井化学東セロ**、**ニイタカ**、**キューピー**などがランクインしています。

【表1】：食品の保存技術 特許総合力トップ5】



本分析の詳細につきましては、特許・技術調査レポートの「食品の保存技術」にてご覧いただけます。

(注1) 総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが50点以上のものを合算しています。50点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです

【調査対象の特許群について】

1993年から2021年8月5日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

【価格】

内容		価格(税抜)	納期
特許・技術調査レポート		10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1～5社まで (社数に関わらず同一価格)	+20万円	+5営業日
	6社目以降、1社当たり	+4万円	+1営業日

- ※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能です。
- ※レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成致します。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

【納品形態】

冊子1冊。CD-ROMにレポートのPDF、分析に使った特許リスト(Excelファイル)を収録。レポートの収録内容およびサンプルは下記のリンク先をご参照ください。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>

<< 本件に関するお問い合わせ先 >>

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>